

# 志木市公共施設適正配置計画 ～ 第Ⅰ期 個別施設計画 ～

平成30（2018）年1月

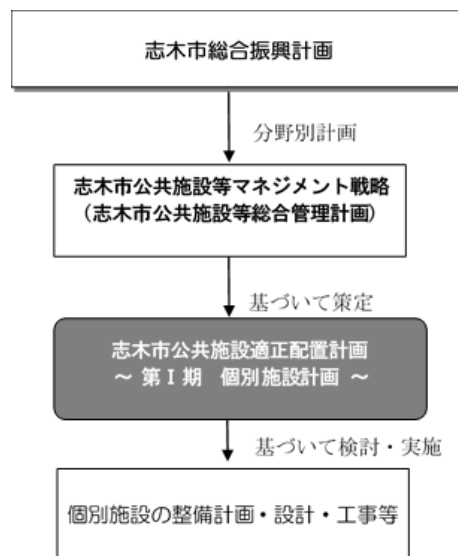
## 背景と目的

本市では、昭和40年代の高度経済成長期を中心に、公共施設及びインフラを整備してきたが、今後、人口減少や少子高齢化に伴う公共施設の利用需要の変化や、老朽化に伴う維持補修経費の増大が予想される。このため本市では、公共施設等の計画的な更新等による財政負担の軽減・平準化を図るため、平成27年度に「志木市公共施設等マネジメント戦略」を策定した。

本計画は、志木市公共施設等マネジメント戦略に基づき、個別施設ごとの再配置等に関する具体的な方向性を定めることにより、財政負担の軽減・平準化とサービス水準の維持を両立させながら、公共施設の最適な配置を実現することを目的とする。

## 計画の位置づけ

本計画は、志木市公共施設等マネジメント戦略に基づく個別施設計画である。本計画に基づき、公共施設の更新・統廃合などを計画的に行う。



## 計画期間

本計画は、平成27(2015)年度から平成36(2024)年度までの10年間を計画期間とする。

### 志木市公共施設等マネジメント戦略（志木市公共施設等総合管理計画） （平成27(2015)年度～平成56(2044)年度）

志木市適正配置計画 ～ 第Ⅰ期 個別施設計画 ～ 【平成27年度～平成36年度】 （2015年度～2024年度）	志木市適正配置計画 ～ 第Ⅱ期 個別施設計画 ～ 【平成37年度～平成46年度】 （2025年度～2034年度）	志木市適正配置計画 ～ 第Ⅲ期 個別施設計画 ～ 【平成47年度～平成56年度】 （2035年度～2044年度）
---	---	---

## 基本的な考え方

公共施設の適正配置に当たっては、志木市公共施設等マネジメント戦略の基本方針に基づき以下の考え方で取組を進める。

- ・更新のピークの平準化が図れるマネジメント方策を適用する
- ・コンパクトな市域を生かした施設の集約・複合化を積極的に進める
- ・民間活力の活用（民営化等）により、サービス水準の維持と総量の削減を両立させる

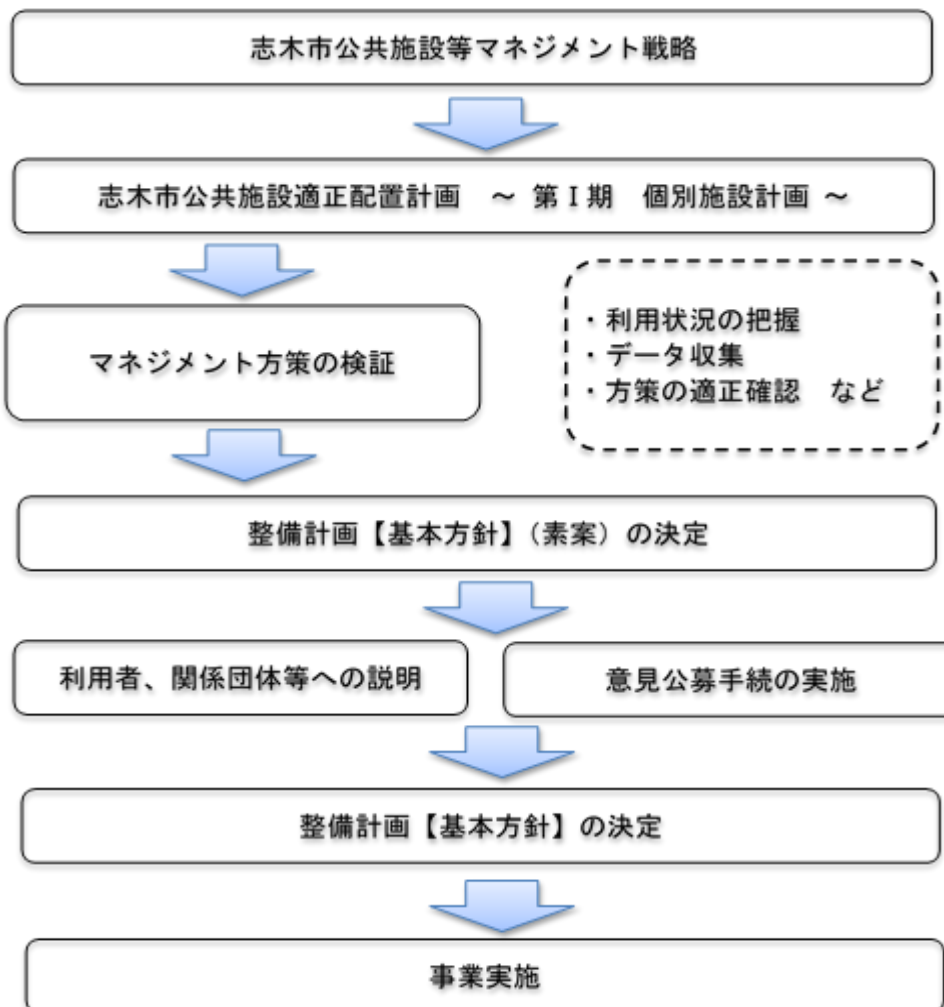
## 目標

計画期間(平成27(2015)年度～平成36(2024)年度)

10年間の公共施設の総量(延床面積)4%削減

## 実施手順

施設の更新等を具体的に進める際は、以下の手順に従って進めることとする。



## 実施方針

### 適正配置に向けたマネジメント方策

個別施設の適正配置に当たっては、施設の状況を踏まえて、以下のマネジメント方策の中から適切なものを選定し、総量(延床面積)の削減を図ることとする。

#### ■ マネジメント方策の一覧

方策	内容
建替え	機能(面積)を効率化して建替えを行う
集約・複合化	施設同士を移転させて建替え(または大規模改修)を行う
転用	他の用途の施設に改修して機能転換する
廃止	取り壊し、売却、譲渡などにより施設を廃止する
民営化	民営化などにより施設を民間に移管する
継続	修繕などをしながら継続使用する

## 実施プログラム

### 実施プログラムの考え方

適正配置方針に基づき実施するマネジメント方策について、具体的な時期を定めて実施プログラムとして策定する。実施プログラムは、「志木市人口ビジョン」の推計人口を参考として、人口減少を前提として策定するものとする。このため、将来的な人口の推移が推計と乖離した場合、計画も随時、見直すこととする。

### 計画期間内の取組

第Ⅰ期(平成27(2015)年度～平成36(2024)年度)については、耐震性能が不足している施設及び現在複合化等の計画が進行中の施設のみマネジメント方策を実施する。

そのため、上記以外の施設については、耐用限界年度に達していても、施設の管理状況に応じて継続して使用する場合もあり、その際は第Ⅱ期以降にマネジメント方策を実施する。

### マネジメント方策による延床面積削減の考え方

マネジメント方策ごとに、延床面積の削減量を以下の通り設定し、その実現を図る。具体的な削減量は、個別の整備計画(基本方針)策定時に決定する。

#### ■ 延床面積削減の考え方

マネジメント方策	建替え	集約・複合化	転用	廃止	民営化	継続
削減率	10%	30～40%	0%	100%	100%	0%

## 第 I 期 個別施設計画対象施設一覧

### 〈マネジメント方策実施対象施設（棟別）〉

施設名	説明
市民会館	整備手法比較検討調査の結果を踏まえた整備手法の決定
市民体育館	
郷土資料館	文化財保護の観点も踏まえつつ、施設の利用実態や役割を考慮したあり方の検討
秋ヶ瀬スポーツセンター	施設利用需要を考慮しつつ施設機能の縮減を前提とした建替えの検討
武道館	周辺の公共施設との集約・複合化の検討
館保育園	民営化による施設の移管
カフェ・ランチルーム宗四小	宗岡第四小学校増築に伴う廃止
総合福祉センター	総合福祉センターを核とした複合化を実施
総合福祉センター (無償貸与部分)	
総合福祉センター (有償貸与部分)	
教育サポートセンター	
宗岡子育て支援センター	
児童センター	
宗岡第二公民館	
福祉センター	
庁舎	現庁舎用地に単独建替え
子どもと家庭の相談室	庁舎を核とした複合化を実施（平成27(2015)年度実施済）
消防団第3分団車庫	周辺の公共施設との集約・複合化の検討及び整備
消防団第4・5分団車庫	機能の効率化と施設の数量・配置について検討及び整備

※  既に計画が進んでいる施設（平成30年1月1日現在）

### 〈改修検討施設〉

宗岡公民館、柳瀬川図書館、第二福祉センター、高齢者あんしん相談センター、柳瀬川駅前出張所、志木消防署、消防団第1分団車庫、防災倉庫、大原浄水場、館第一排水ポンプ場、志木中継ポンプ場、柳瀬川駅前自転車駐車場